

## 高等学校 商業

### 解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**～大問 **4** については、マーク式解答用紙に、大問 **5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。  
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1**～大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。  
例えば、「解答番号は  」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号  の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 次の(1)～(10)の問いに答えよ。

(1) 元金¥1,000,000を年利率2%で、1年1期複利法で3年間金融機関に預金した場合の複利終値はいくらか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 ¥1,020,000
- 2 ¥1,040,400
- 3 ¥1,060,000
- 4 ¥1,061,208
- 5 ¥1,126,161

(2) 元金¥800,000を年利率6.9%で4月26日から7月4日まで借りると、元利合計はいくらか。ただし、利息の日数計算は、片落とし、円未満切り捨てとする。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 ¥810,283
- 2 ¥810,430
- 3 ¥810,435
- 4 ¥810,580
- 5 ¥810,586

(3) 次の文章の(ア)～(オ)に入る最も適切な語の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

需要の価格弾力性は、次の式で表す。

需要の価格弾力性 = (ア) の変化率% ÷ (イ) の変化率% (絶対値)

この需要の価格弾力性の絶対値が1よりも大きければ弾力性が(ウ)、1よりも小さければ、弾力性が(エ)。一般的に、生活必需品では、この値が(オ)。

- |   |      |      |       |       |       |
|---|------|------|-------|-------|-------|
| 1 | ア 需要 | イ 価格 | ウ 小さく | エ 大きい | オ 小さい |
| 2 | ア 需要 | イ 価格 | ウ 大きく | エ 小さい | オ 大きい |
| 3 | ア 需要 | イ 価格 | ウ 大きく | エ 小さい | オ 小さい |
| 4 | ア 価格 | イ 需要 | ウ 小さく | エ 大きい | オ 大きい |
| 5 | ア 価格 | イ 需要 | ウ 大きく | エ 小さい | オ 大きい |

(4) 次のうち、マーケティングミックスにおける「4 P 政策」として適切でないものはどれか。  
1～5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 Positioning
- 2 Price
- 3 Product
- 4 Place
- 5 Promotion

(5) 会社法第三百二十六条第2項において、株式会社が定款の定めによって置くことができる機関として定められていないものはどれか。次の1～5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 取締役会
- 2 監査役
- 3 監査役会
- 4 取締役
- 5 会計参与

(6) 「特定商取引に関する法律」いわゆる特定商取引法において、「特定継続的役務提供」について定められているが、現在、特定継続的役務として指定されていない役務はどれか。1～5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 植毛・増毛
- 2 エステティック
- 3 パソコン教室
- 4 家庭教師
- 5 結婚相手紹介サービス

(7) 民法では、権利を一定期間行使しないことによって、権利を消滅させる制度を、消滅時効という。消滅時効の期間は、一般の債権は10年であるが、次の(ア)～(オ)のうち消滅時効の期間が3年のものはいくつあるか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- (ア) 商行為による債権      (イ) 商品代金      (ウ) 宿泊代金  
(エ) 医療費      (オ) 請負人の工事代金

- 1 1つ  
2 2つ  
3 3つ  
4 4つ  
5 5つ

(8) 次の文章の(ア)～(エ)に入る最も適切な語の正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

契約における意思の不存在には、心裡留保、虚偽表示、錯誤の三つがある。虚偽表示の場合、当事者間の効力は(ア)であり、善意の第三者に対する無効または取り消しの主張は(イ)。

また、内心の意思と表示された意思との間にくい違いはないが、実は他人にだまされたり、強迫されたりしてなされた意思表示を、瑕疵ある意思表示といい、詐欺や強迫によるものがこれにあたる。詐欺によってなされた意思表示は、当事者間の効力は取り消せる。善意の第三者に対する無効または取り消しの主張は(ウ)。強迫によってなされた意思表示は、当事者間の効力は取り消せる。善意の第三者に対する無効または取り消しの主張は(エ)。

- |   |      |        |        |        |
|---|------|--------|--------|--------|
| 1 | ア 有効 | イ できる  | ウ できない | エ できる  |
| 2 | ア 有効 | イ できない | ウ できる  | エ できない |
| 3 | ア 有効 | イ できる  | ウ できる  | エ できる  |
| 4 | ア 無効 | イ できない | ウ できない | エ できる  |
| 5 | ア 無効 | イ できる  | ウ できない | エ できない |

(9) 次のうち、「ディーラー・ヘルプス（販売店援助）」として適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 開店や改装にかかる資金援助
- 2 従業員の教育や訓練
- 3 販売員などの派遣
- 4 P O P 広告物や陳列器具など販促資材の提供
- 5 クレジットカードによる販売

(10) 次の（ア）～（オ）のうち、高等学校学習指導要領解説 商業編の各科目における「第2 内容とその取扱い」の「1 内容の構成及び取扱い」に関する記述として、誤っているものはいくつあるか。1～5から一つ選べ。解答番号は

（ア）「ビジネス基礎」では、「指導に当たっては、各種メディア教材などを活用し、経済社会の動向に着目させるとともに、具体的な経済事象について経済理論と関連付けて考えさせること。」と示されている。

（イ）「財務会計Ⅰ」では、「指導に当たっては、企業会計に関する法規や基準の変更に留意し、企業の経営成績や財政状態を把握し、ビジネスの諸活動に活用する知識と技術を習得させること。」と示されている。

（ウ）「経済活動と法」では、「指導に当たっては、企業の経済活動について具体的な事例を取り上げ、課題を発見させるとともに、法的に思考し判断して行動できるようにすること。」と示されている。

（エ）「情報処理」では、「指導に当たっては、具体的な事例を通して、個人のプライバシーや著作権など知的財産の保護、収集した情報の管理、発信する情報に対する責任などの情報モラルについて理解させること。また、ビジネスの諸活動において、情報を扱う者の役割や責任について考えさせること。」と示されている。

（オ）「マーケティング」では、「指導に当たっては、具体的な事例を取り上げ、適切な販売促進などの在り方について考えさせること。」と示されている。

- 1 1つ
- 2 2つ
- 3 3つ
- 4 4つ
- 5 5つ

2 A株式会社の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項によって、下記の損益計算書を完成させア～コの問いに答えよ。

ただし、1. 会社計算規則によること。

2. 会計期間は平成28年4月1日から平成29年3月31日までとする。

元帳勘定残高

現金預金	¥ 340,900	受取手形	¥ 300,000	売掛金	¥ 200,000
売買目的有価証券	113,000	繰越商品	340,000	備品	300,000
建物	600,000	土地	277,800	支払手形	209,700
買掛金	140,000	短期借入金	100,000	貸倒引当金	1,400
長期借入金	200,000	退職給付引当金	70,000	備品減価償却累計額	77,100
建物減価償却累計額	140,000	資本金	416,000	資本準備金	10,000
利益準備金	80,000	別途積立金	40,000	繰越利益剰余金	4,000
売上	3,100,000	受取利息	5,000	固定資産売却益	800
仕入	1,910,000	給料	200,000	水道光熱費	3,000
消耗品費	2,000	支払保険料	3,600	支払家賃	800
支払利息	2,000	株式交付費	900		

付記事項

1 使用に耐えられなくなった備品を期首に新品と取り替えるため除却した。なお、この備品の取得価額は¥100,000 減価償却累計額は¥27,100であった。

決算整理事項

1 受取手形および売掛金の期末残高に対してそれぞれ2%の貸し倒れを見積もる。(差額補充法による)

2 売買目的で保有している有価証券の決算日における時価は¥110,000である。売買目的有価証券の評価は時価法による。

3 期末商品棚卸高は次のとおりである。

(1) 帳簿棚卸数量 450個 原価 @ ¥750

(2) 実地棚卸数量 430個 正味売却価額 @ ¥700

ただし、棚卸減耗費は売上原価の内訳科目とし、商品評価損は特別損失とする。

4 固定資産の減価償却高

備品：定率法；償却率10%

建物：定額法；耐用年数30年；残存価額 取得原価の10%

5 消耗品未消費高 ¥300

6 家賃未払高 ¥400

7 退職給付引当金繰入額 ¥8,000

8 支払保険料のうち¥2,400は平成28年10月1日から1年分の保険料として支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。

9 利息未収高 ¥400

10 税引前当期純利益の50%相当額を法人税等とする。

A株式会社

損益計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

I 売上高		( )
II 売上原価		
1. 期首商品棚卸高	( )	
2. 当期商品仕入高	( )	
合計	( )	
3. 期末商品棚卸高	( A )	
差引	( )	
4. ( )	( )	( B )
売上総利益		( )
III 販売費および一般管理費		
1. 給料	( )	
2. ( )	( )	
3. ( )	( )	
4. 消耗品費	( C )	
5. ( )	( )	
6. 減価償却費	( D )	
7. 支払保険料	( E )	
8. ( )	( )	( )
営業利益		( F )
IV 営業外収益		
1. ( )	( )	( )
V 営業外費用		
1. ( )	( )	
2. 株式交付費	( )	
3. ( )	( )	( )
経常利益		( G )
VI 特別利益		
1. 固定資産売却益	( )	( )
VII 特別損失		
1. 固定資産除却損	( H )	
2. ( )	( I )	( )
税引前当期純利益		( )
法人税・住民税および事業税		( J )
当期純利益		( )

ア 損益計算書の（ A ）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 300,300
- 2 312,000
- 3 322,000
- 4 337,500
- 5 345,000

イ 損益計算書の（ B ）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 1,926,300
- 2 1,927,100
- 3 1,927,300
- 4 1,927,400
- 5 1,927,500

ウ 損益計算書の（ C ）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 1,500
- 2 1,600
- 3 1,700
- 4 2,300
- 5 2,400

エ 損益計算書の（ D ）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 33,000
- 2 33,100
- 3 33,200
- 4 33,500
- 5 33,700



オ 損益計算書の（ E ）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 2,400
- 2 2,500
- 3 2,600
- 4 2,700
- 5 2,800

カ 損益計算書の（ F ）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 914,400
- 2 914,500
- 3 914,600
- 4 914,700
- 5 914,800

キ 損益計算書の（ G ）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 914,000
- 2 914,100
- 3 914,200
- 4 914,300
- 5 914,400

ク 損益計算書の（ H ）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 72,700
- 2 72,800
- 3 72,900
- 4 73,000
- 5 74,000

ケ 損益計算書の ( I ) にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 20,300
- 2 20,600
- 3 20,800
- 4 21,100
- 5 21,500

コ 損益計算書の ( J ) にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 410,100
- 2 410,150
- 3 410,250
- 4 410,300
- 5 410,350

**3** 次の (1)、(2) の問いに答えよ。

(1) A製作所の次の資料にもとづく下記の製造間接費勘定と製造勘定について、ア～カの問いに答えよ。

資 料

材	料	月初有高	320千円	当月仕入高	10,320千円	月末有高	310千円	
労	務	費	前月末払高	3,100千円	当月支払高	8,210千円	当月未払高	2,100千円
経	費	前月前払高	1,400千円	当月支払高	5,150千円	当月前払高	1,800千円	
製	造	月初有高	3,111千円	月末有高	1,211千円			

実際直接作業時間 3,200時間

製造間接費配賦差異 440千円 (借方差異)

※ 上記の材料、労務費、経費は全て直接費である。

※ 製造間接費は直接作業時間を基準に予定配賦している。

1年間の予定直接作業時間 40,000時間

1年間の製造間接費予定額 180,000千円

製造間接費 (単位:千円)		製 造 (単位:千円)	
(諸 口) ( )	(製 造) (b)	(前月繰越) ( )	( ) (f)
	( ) ( )	(材 料) (c)	(次月繰越) ( )
	(a)	(労 務 費) (d)	
		(経 費) (e)	
		( ) ( )	
		( )	( )

ア 製造間接費勘定の（ a ）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 13,960
- 2 14,400
- 3 14,840
- 4 15,000
- 5 15,440

イ 製造間接費勘定の（ b ）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 13,960
- 2 14,400
- 3 14,560
- 4 14,840
- 5 15,000

ウ 製造勘定の（ c ）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 9,690
- 2 10,310
- 3 10,320
- 4 10,330
- 5 10,950

エ 製造勘定の（ d ）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 3,010
- 2 7,210
- 3 8,210
- 4 9,210
- 5 13,410

オ 製造勘定の（ e ）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 1,950
- 2 4,750
- 3 5,150
- 4 5,550
- 5 8,350

カ 製造勘定の（ f ）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 34,790
- 2 38,150
- 3 38,590
- 4 38,750
- 5 39,190

(2) B製作所の次の資料にもとづく下記の工程別総合原価計算表について、ア～オの問いに答えよ。

資 料

- ① 第1工程完成品のうち500個が第2工程に引き渡され、残りは倉庫に保管する。
- ② 素材は各工程において製造着手のときにすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。
- ③ 月末仕掛品原価の計算は平均法による。
- ④ 当月製造費用
  - ・補助部門の個別費 ￥440,000
  - ・部門共通費 ￥800,000
    - 内訳：工場消耗品 ￥150,000 労務費 ￥250,000 経費 ￥400,000
    - 部門共通費配賦割合：第1工程 40% 第2工程 40% 補助部門 20%
  - ・補助部門費の配賦割合
    - 第1工程 60% 第2工程 40%
- ⑤ 月初仕掛品原価

	素材費	加工費	前工程費	合計
第1工程	￥120,000	￥60,000	—	￥180,000
第2工程	￥5,000	￥74,000	￥20,000	￥99,000

- ⑥ 月末仕掛品数量
  - 第1工程 400個（加工進捗度 50%）
  - 第2工程 200個（加工進捗度 40%）
- ⑦ 完成品数量
  - 第1工程 1,200個
  - 第2工程 900個

工程別総合原価計算表

平成28年12月分

(単位：円)

摘 要	第1工程	第2工程	合 計
工程個別費 素 材 費	600,000	325,000	
前工程費		( c )	
労 務 費	450,000	380,000	
経 費	280,000	260,000	
部門共通費配賦額	( a )		
補助部門費配賦額		( d )	
当月製造費用			
月初仕掛品原価	180,000	99,000	
計			
月末仕掛品原価	( b )		
完 成 品 原 価			
完 成 品 数 量	個	個	
完 成 品 単 価		( e )	

ア 工程別総合原価計算表の ( a ) にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 160,000
- 2 260,000
- 3 320,000
- 4 400,000
- 5 480,000

イ 工程別総合原価計算表の ( b ) にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 390,000
- 2 502,500
- 3 547,500
- 4 670,000
- 5 730,000

ウ 工程別総合原価計算表の（ c ）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 684,375
- 2 750,000
- 3 1,642,500
- 4 1,800,000
- 5 2,190,000

エ 工程別総合原価計算表の（ d ）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 176,000
- 2 220,000
- 3 240,000
- 4 264,000
- 5 360,000

オ 工程別総合原価計算表の（ e ）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 2,300
- 2 2,900
- 3 3,200
- 4 3,400
- 5 3,700

次の（1）～（10）の問いに答えよ。

（1）次の文は画像ファイルの形式について述べたものである。最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

フルカラーに対応し、可逆圧縮で画質の劣化なしに取り扱えるため、DTPでよく使われる。

- 1 JPEG
- 2 GIF
- 3 PNG
- 4 BMP
- 5 TIFF

(2) 次の文は動画ファイルの形式について述べたものである。最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

DVDビデオやテレビ放送などで採用されている規格で、画質はDVD相当である。

- 1 MPEG-4
- 2 AVI
- 3 MPEG-1
- 4 WMV
- 5 MPEG-2

(3) 次の文は音声ファイルの形式について述べたものである。最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

音楽CD並の音質で、データ量を約22分の1まで圧縮することができ、著作権保護機能を持っている。

- 1 AIFF
- 2 WAV
- 3 MP3
- 4 WMA
- 5 AAC

(4) 表計算ソフトで、

=MID("O S A K A", 2, 3)

と入力した時、そのセルに表示されるものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 S A K
- 2 A K
- 3 A K A
- 4 O S, A K A
- 5 O S

(5) 表計算ソフトで、

=ROUND(1234.56789, -2)

と入力した時、そのセルに表示されるものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 -1234.6
- 2 1200
- 3 1234.57
- 4 1234.6
- 5 1235

(6) 表計算ソフトで、

=FIXED(12345\*0.9, -2, FALSE)

と入力した時、そのセルに表示されるものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 11,000
- 2 11100
- 3 11,100
- 4 11,108
- 5 11,110.50

(7) 表計算ソフトで、セル (B5) からセル (B44) までの連続した値を母集団とした標準偏差の値を求めるときに、最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 =MEDIAN(B5: B44)
- 2 =MODE(B5: B44)
- 3 =VARP(B5: B44)
- 4 =STDEVP(B5: B44)
- 5 =RAND(B5: B44)

(8) ウェブページの文書構造は一般にHTMLという言語を使用して製作されている。HTMLは、タグという < > で囲まれた一種の命令を使って記述する。

ウェブページの本文としてブラウザに表示させる部分に記述するタグはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 html
- 2 body
- 3 title
- 4 head
- 5 meta

(9) おもに携帯情報端末に搭載されており、赤外線を利用したデータ通信のインタフェースはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 USB
- 2 IEEE1394
- 3 Bluetooth
- 4 HDMI
- 5 IrDA



(10) 10進数の11と2進数の101の積を表す2進数はどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 10000
- 2 100111
- 3 101101
- 4 110101
- 5 110111

- 5 次の(ア)～(キ)の取引の仕訳を示せ。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

勘定科目

現金	売掛金	売買目的有価証券	当座預金	受取手形
積送品	減価償却累計額	車両運搬具	のれん	買掛金
支払手形	退職給付引当金	繰越利益剰余金	仕入	通信費
退職金	発送費	のれん償却	支払利息	手形売却損
固定資産売却損	売上	試用仮売上	有価証券利息	固定資産売却益
現金過不足	試用販売契約	損益		

- (ア) かねて現金過不足勘定で処理しておいた現金不足額¥7,000のうち¥5,000は、調査の結果、通信費の記入もれであることが判明した。
- (イ) A商店に商品¥600,000を売却し、代金の90%については、貨物引換証を担保として取引銀行で荷為替を取り組み、割引料¥10,000を差し引かれた手取金は当座預金とした。なお、残額は掛けとした。
- (ウ) B商店に売掛金を請求し、C商店振り出しB商店あて約束手形¥400,000、当店振り出しD商店あて約束手形¥600,000を受け取った。
- (エ) 売買目的で平成○年10月31日に他社の社債(期間10年、年利率7.3%、利払日は6月30日と12月31日の年2回)総額¥10,000,000を額面¥100につき¥99で購入し、この代金と売買手数料¥30,000のほか、前回利払日の翌日から購入日までの端数利息を加えた合計金額を小切手を振り出して支払った。
- (オ) のれん¥570,000は前期首にE商店を買収したさいに計上したものである。減価償却は20年にわたって定額法で償却することにし、前期に第1期分の償却をしていた。(決算整理仕訳)
- (カ) 当期純利益(損益勘定貸方残高)¥16,000,000を繰越利益剰余金勘定に振り替えた。(株式会社の場合)
- (キ) 従業員1名が退職したので、退職一時金¥20,000,000を現金で支払った。なお、同人について前期末までに引当てられた退職給付の要支給額は¥20,000,000であった。

(ク) F商店は、G商店に商品¥700,000を売り渡し、代金のうち¥300,000については自己を受取人とする為替手形を振り出して同店の引き受けを得るとともに、残額についてはH商店振り出し、G商店受け取りの約束手形の裏書譲渡を受けた。なお、発送運賃¥4,000を現金で支払ったが、これは先方負担である。

(ケ) 商品80個（原価@ ¥500 売価@ ¥820）を試用販売のため、得意先へ発送した。（対照勘定を用いること）

(コ) 平成25年の期首に購入した営業用の乗用車（取得価額¥4,000,000）を平成27年の期首に売却し手取り金¥1,000,000を現金で受け取った。この乗用車については、耐用年数6年、定率法（償却率0.333）によって償却し、間接法で記帳している。なお、当社の決算は年1回である。

## 【 計算用紙 】

(必要に応じて使用すること)

## 【 計算用紙 】

(必要に応じて使用すること)

## 【 計算用紙 】

(必要に応じて使用すること)



